

咬合補綴治療の核心を学ぶことができる渾身の1冊

臨床 咬合補綴治療

その鑑別診断と治療計画

今井俊広 / 今井真弓 著

咬合補綴治療の難易度は？
なにを、どう診査していけばいい？
症例に応じて治療計画はどう変化する？

補綴治療時に欠かすことのできない考慮事項である咬合
その診査事項から鑑別診断、そして治療計画立案に至る
咬合補綴治療の最重要ポイントを詳細に解説



本書の見どころ

- 咬合補綴治療の目的と指標
- 咬合補綴治療の分類と治療の流れ
- 咬合補綴治療の診査事項
- 複雑な咬合補綴治療の進めかた
- 咬合補綴治療の基本事項
- バイオメカニカルストレス
- 中心位と生理的顎頭安定位
- 診断用模型の重要性
- アンテリアガイダンス
- 咬合高径
- TMD をともなった症例の補綴治療
- ブラキサーの補綴治療
- インプラント補綴治療と咬合
- スプリントの有効活用

●サイズ:A4判 ●312ページ ●定価:16,800円(本体16,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

本気で咬合を学びたい読者へ贈る、咬合補綴治療のノウハウ

咬合補綴治療の鑑別診断を徹底的に学ぶ

スタディモデルから症例の過去を読む



顎機能の診査に強くなる

咬合高径の設定にこだわる

類似症例の比較から難易度を把握する

CONTENTS

第1章 咬合補綴治療の目的と指標

1. 咬合補綴治療の目的
2. 顎口系の生理的関係から咬合を分類する
3. 咬合補綴治療の治療位はICP? CR?
4. 下顎位の生理的要素
5. 咬合(歯単位)の基本要素
6. アンテリアガイダンスの有難と節活性

第2章 咬合補綴治療の分類と治療の流れ

1. 咬合補綴治療の分類
2. 症例を分類し分析する習慣をもつ
3. 分類ごとに必要な診査とは

第3章 咬合補綴治療のための診査事項

— 症例に応じて必要な診査を見極める —

1. 咬合補綴治療のための診査事項
2. 一般診査
3. 臨床的な診査
4. 診査の流れと評価・診断の実態

第4章 複雑な咬合補綴治療の実例

— 診査・診断の後、どのように治療を進めるか —

1. 咬合補綴治療の流れ
2. 治療目標と最終ゴールをイメージしたワックスアップ
3. プロビジョナルレストレーション
4. クロスマウントプロシーチャー
5. 補綴物のスプリンティング(固定)
6. 咬合平面の角度の設定と咀嚼ストロークの関係
7. 咬合接触の与えかたと調整法

第5章 咬合補綴治療を行うにあたり知っておきたい基本事項

1. 顎口系の機能 Function
2. 生物学 Biology
3. 補綴物の構造 Structure
4. エステティック Esthetics

第6章 咬合によるバイオメカニカルストレスの臨床的影響

1. 顎口系に生じるメカニカルストレスの影響
2. 歯へのメカニカルストレスの影響
3. 歯周組織へのメカニカルストレスの影響
4. 筋肉へのメカニカルストレスの影響
5. 顎関節へのメカニカルストレスの影響

第7章 中心位の定義と生理的顎顎安定位の解釈

1. 中心位の定義の覚悟
2. 顎関節規格写真による顎顎の位置と症状の比較
3. 顎顎の位置と咬合は関係があるのか?
4. エックス線画像だけでは顎顎位の判定が困難な症例もある

第8章 スタディモデル 診断用模型の重要性

1. 咬合補綴治療におけるスタディモデルの位置づけ
2. スタディモデルの臨床的活用
3. 咬合器に模型を装着する意義
4. 咬合器の選択
5. パナドント咬合器

第9章 アンテリアガイダンス

1. アンテリアガイダンスの重要性
2. 咀嚼ストローク
3. ディスクレーション(白歯顔面)

第10章 咬合高径

1. 咬合高径の評価の必要性
2. 咬合高径の平衡理論
3. 咬合高径決定の判断基準
4. 咬合高径決定要素 種々の検討
5. 生理的範囲での咬合高径変更の可能性

第11章 TMD をともなった症例の補綴治療

1. TMD と咬合の関係
2. TMD 症状を有する患者の補綴治療

第12章 ブラキサーの補綴治療の留意点

1. パラファンクションとは
2. 水平的ブラキサー
3. 垂直的ブラキサー
4. 下顎の偏位や干渉の影響を受けたブラキサー
5. 注意すべきパラファンクションの信号
6. パラファンクションの原因
7. パラファンクションとストレス解消機構
8. ストレスと歯痛についての実験

第13章 インプラント補綴治療での咬合

1. インプラント補綴治療での咬合の留意点
2. ブリッジとインプラント補綴治療の選択評価

第14章 オクルーザルアブライアンス

— (スプリント)の有効活用 —

1. オクルーザルアブライアンスの目的
2. オクルーザルアブライアンスの種類
3. スプリントの臨床目的
4. オクルーザルアブライアンス(スプリント)の製作

きりとり線

注文書

臨床咬合補綴治療 その鑑別診断と治療計画

モリタ商品コード:805353

冊注文します。

●お名前	●医院名	●ご指定納入店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定納入店がない場合は送料を頂き、代金引換宅急便でお送りさせていただきます。